

群馬県衛生環境研究所年報

ANNUAL REPORT OF GUNMA PREFECTURAL INSTITUTE
OF PUBLIC HEALTH AND ENVIRONMENTAL SCIENCES

NO. 42 2010

群馬県衛生環境研究所

ま え が き

2009 年は新型インフルエンザ A/H1N1pdm の流行に終始しました。これに続く 2010 年は、我が国で行われた前例のない徹底した新型インフルエンザ対策について検証し評価するという、重要な作業をすべき時であろうと考えます。

ところが、熱しやすく冷めやすい国民性によるものか、あるいはメディアが興味を無くし報道しなくなったせい（おそらく両方だと思いますが・・・）、新型インフルエンザは過去の一事件として仕舞い込まれてしまって、もはや一般国民の関心と呼ぶこともなくなりました。

ただし、厚生労働省では新型インフルエンザ専門家会議が、次にやって来るかもしれない H5N1 パンデミックに向けて、行動計画の改訂作業を進めています。私もそのなかの公衆衛生班に参画していますが、専門家の委員からは厚生労働省の不手際を糾弾する意見ばかりが多く出されています。折しも、WHO のマーガレット・チャン事務局長が都内で講演し、「日本は死亡率が最も低かった。日本の対策は正しかった」と我が国の対応を称揚しました。・・・さて、これはどう受け取ったらいいものか？ H5N1 来襲に対しても同じ手法で奏功するものか？疑問は残ります。ただ一つ確かなことは、「日本の医療機関は分け隔てしない」ということです。国民皆保険の公平な医療制度が感染症への強固な砦であることは昨年も実証されたところであり、医療供給体制が破綻しないようサポートすることこそが、今後も行政の重要な役割であることに変わりはありません。

群馬県衛生環境研究所は感染症サーベイランス機能を重視しています。昨年の新型インフルエンザ対応では、PCR 検査に追われて、感染症情報の収集・解析・提供が十分にできなかったことが反省点として残りました。これらの機能を強化し、健康危機管理能力を向上させることが当面の最重要課題です。

今後も群馬県衛生環境研究所の取り組みへのご支援を賜りますよう、切にお願い申し上げます。

2010 年 11 月

群馬県衛生環境研究所長 小澤邦壽

目 次

ま え が き

機 構

1 沿 革	1
2 組織と業務内容 (平成 22 年 4 月 1 日)	3
3 職員一覧 (平成 22 年 4 月 1 日)	4
職種別職員数	5
4 決算 (平成 21 年度歳出目・節別調書)	6
5 主要備品一覧	7
6 学会・研究会及び会議への出席	8

業務実績

1 水環境・温泉研究センター	13
2 感染制御センター	16
3 研究企画係	18
4 保健科学係	19

調査研究

報文

1 群馬県平野部における大深度掘削泉の定期モニタリング 齊藤由倫、木村真也、森尾 誠	21
---	----

短報

2 群馬県南東部河川の窒素濃度 須藤和久、木村真也、後藤和也、下田美里	29
3 群馬県版水環境健全性指標の作成 後藤和也、田子 博、須藤和久、木村真也、下田美里、中島 右	33

資 料

1 2009 年度湖沼水質調査結果 松本理沙、後藤考市、後藤和也、須藤和久、木村真也、田子 博、中島 右、下田美里 ..	41
2 2009 年度尾瀬沼コカナダモ生育状況観察結果 松本理沙、後藤考市、後藤和也、須藤和久、木村真也、田子 博、中島 右、下田美里 ..	46
3 渡良瀬川平水時水質調査結果 松本理沙、須藤和久、後藤和也、木村真也、下田美里	49
4 大気中フロン類濃度の経年変化 熊谷貴美代、齊藤由倫、飯島明宏、下田美里	53
5 平成 21 年度感染症流行予測調査結果 長井綾子、鈴木智之、塩原正枝、田嶋久美子、小畑 敏	57
6 群馬県において分離された腸管出血性大腸菌 黒澤 肇、安中秀幸、坂野智恵子、横田陽子、小畑 敏	62

7	平成 21 年度に感染症発生動向調査から検出されたウイルス 齋藤美香、塚越博之、長井綾子、横田陽子、小畑 敏	66
8	小規模コンニャク製造業者の調査および手作り風コンニャクの汚染実態調査 横田陽子、坂野智恵子、安中秀幸、須藤律子	70

発表業績

1 学会誌等への投稿

1	Seasonal characteristics of water-soluble organic carbon in atmospheric particles in the inland Kanto plain, Japan.	
2	Clarification of the predominant emission sources of antimony in airborne particulate matter and estimation of their effects on the atmosphere in Japan.	
3	Antimony in airborne particulates: a review on environmental monitoring and potential sources.	75
4	Concentration distributions of dissolved Sb(III) and Sb(V) species in size-classified inhalable airborne particulate matter.	
5	A Case of <i>Legionella</i> pneumonia Linked to a Hot Spring Facility in Gunma Prefecture, Japan.	76
6	Mitocryptide-2: Purification, Identification, and Characterization of a Novel Cryptide That Activates Neutrophils.	
7	Phylogenetic and cluster analysis of human rhinovirus species A (HRV-A) isolated from children with acute respiratory infections in Yamagata, Japan.	77
8	有害大気汚染物質モニタリングにおける試料採取期間と年平均値の関係	
9	群馬県平野部および山岳部における微小粒子状物質の季節特性	
10	群馬県における有害大気汚染物質調査 - モニタリングデータと排出インベントリーに着目した水銀発生源の探索 -	78
11	大気粉塵中アンチモンの発生源の解明及び大気への影響評価	
12	海外渡航歴のない細菌性赤痢患者の同時期の複数届出事例について -	79

2 学会等での発表

1	Speciation of antimony (III) and antimony (V) present in size-classified airborne particulate matter.	
2	Organic fine particles from photochemical events in central Japan by high-resolution aerosol mass spectrometry.	
3	群馬県北部の河川における水環境健全性指標試行調査	80
4	国内 11 地点における大気粉じん及びガス状成分の遺伝毒性	
5	関東内陸域(群馬県)における超微小粒子成分の観測	81
6	群馬県における地下水への窒素負荷分布の推定	
7	大気中窒素化合物の地域特性と沈着	
8	群馬県西部における大気汚染物質調査	
9	関東内陸部における水溶性有機エアロゾル成分の季節特性	82
10	関東における大気エアロゾルのキャラクタリゼーション(第 30 報) - PMF 法による総合解析 -	
11	大気エアロゾル中アンチモンの発生源解析	
12	2008 年夏季関東内陸部における大気微小粒子組成の高時間分解観測	83
13	群馬県における有害大気汚染物質調査 - モニタリングデータと排出インベントリーに着目した水銀発生源の探索 -	

14	群馬県谷川温泉における温泉水中希土類元素パターンの識別	
15	利根川における農薬類の濃度変化	84
16	群馬県における微小粒子中炭素成分の季節特性	
17	群馬県で分離された新型インフルエンザウイルスの遺伝子解析について	
18	国内 11 地点における夏季・冬季の大気粉じんおよびガス状成分のマイクロサスペンション法による変異原性評価(2007-2009 年)	85
19	国内 11 地点における夏季・冬季の大気粉じんおよびガス状成分の発光 umu 試験による遺伝毒性評価(2007-2009 年)	
20	地域住民と協働した河川環境モデルの評価	
21	利根川における金属類のモニタリング結果	86
22	希土類元素に着目した基盤岩中の地下水水脈の推測	
23	国内の大気粉じんのアリルヒドロカーボン受容体(AhR)結合活性について	
24	県内河川の BOD 環境基準達成率に係る調査	
25	有機トレーサー成分に着目した有機エアロゾルの発生源把握	87
26	レセプターモデルを用いた粒子状物質の発生源解析	
27	小規模コンニャク製造業者の意識調査および手作り風コンニャクの汚染実態調査について	88
28	腸管出血性大腸菌 O157 を対象とした遺伝子多型解析法の検討	
29	群馬県の河川における水環境健全性指標試行調査(1)	
30	群馬県の河川における水環境健全性指標試行調査(2)	
31	群馬県中東部の利根川における農薬類の流出実態	89
32	群馬県中東部の利根川における金属成分の流出実態	
33	地下水窒素汚染に対する大気沈着の寄与の推計	
34	塩素発生電極によるホルムアルデヒドの分解メカニズムの解明	90
研修・業績発表会		
1	当所で実施した研修	91
2	当所で受け入れた視察、研修	92
3	業績発表会	93